

| 地名 | 地名の由来 | 特徴 | ゆかりのある人物 | 神社 | 寺 | その他 |
|----|--------------------------------|--|---|--|---|--|
| 片上 | 昔は「方上」といった | <ul style="list-style-type: none"> かなり古くから開けた 藩政時代は福井藩領 明治22年に片上村 昭和30年に鯖江市編入 古来、水とのたまたかの連続(別所、南井、四方谷は高い所にあるので難を免れた。) | <ul style="list-style-type: none"> 藤原氏(藤原師実) 生江氏 蓮如 | 全部で9つある このうち 春日神社 3つ 八幡神社 2つ その他正ヶ谷神社、片上神社、白山神社など | 全部で8つある | <ul style="list-style-type: none"> 昭和23年福井大震災によって1尺余の地盤沈下。——水害の惨状 昭和29年排水工事による乾田化 昭和49年基盤整備事業完工 |
| 吉谷 | 昔は「御庄」といった松平秀康が鷹狩りにきてから「吉谷」と改称 | <ul style="list-style-type: none"> 昔春日山に黄金づくりの御神体が発見され、以後この付近に七堂伽藍が建ち並びにぎわった。 信長によって、寺院、神社一斉に焼かれた 河和田、粟田部方への「福井街道」の要所としてもにぎわった 横立山の南麓に位置する | <ul style="list-style-type: none"> 松平秀康(羽柴秀康) 一徳川家康の二男(1574年生れ) 禿氏祐祥(仏教学者) 禿氏岳山(岩手日報社長) 福田耕 小川清風(歌人、書家) | 春日神社 (徳山五大夫の像) <ul style="list-style-type: none"> 724 泰澄が仏像を納める 1469 朝倉氏が祈願所とする 1574 毛受勝助復旧 1575 柴田勝家が祈願所とする 1596 秀康が祈願所とする | 安楽寺(泰澄118創立) 一般若寺と称した 一信長に焼かれる 一聖徳太子木像 西教寺(泰澄の創建) 一般若寺と称した 一信長に焼かれる | <ul style="list-style-type: none"> 春日山(前方後円墳)(春日山城蹟) 稲葉山(ここにも古墳が3~4あり) 排水竣工記念碑 水の質が良かったので、昔は豆腐屋が3軒もあった 鴨番の侍屋敷 四方谷坂——四方谷、南井、大正寺の人が鯖江へ行く近道で人通りも多かった。 昔吉谷の川から福井へ年貢米を納めた 大正13年に耕地整理 昭和38年染色団地造成のため横立山を崩し土を運んだ。 明治・大正の頃「六軒町」といわれた町があった。 |

| 地名 | 地名の由来 | 特徴 | ゆかりのある人物 | 神社 | 寺 | その他 |
|------|--|---|---|------------------|---|--|
| 四方谷 | まわりを山に囲まれているから | 手入れの行き届いた大きな屋敷が多い。 | 里見時成(子供が了観) | 正ヶ谷神社 | 正覚寺(了観の創建) 一昔、禅宗で妙観寺 一信長に焼かれる(1573) | <ul style="list-style-type: none"> 四方谷川には昔はホテルが沢山いた 一源氏ボタルと平家ボタルの源平合戦 |
| 南井 | | 齊藤実盛が生まれた。実盛は南井と四方谷の境の山頂に城を築いていた | 齊藤実盛(1182没) 藤原利仁(齊藤実盛の祖先) | 片上神社(齊藤実盛1182創建) | 満徳寺—1493知行の開基 | <ul style="list-style-type: none"> 「芋粥」(芥川龍之介) 一藤原利仁 |
| 大正寺 | 昔、泰澄大師が創始した大正寺という寺があり、これが土地の名に転じた | 相当広い地域にわたって坊舎が建ち並んでいたようだが、今はその跡もとどめない。 天正元年に信長が朝倉義景を攻めた時に焼き払われた | 泰澄大師(682~747) 日像上人(日蓮上人の弟子で題目をとなくて回った) | 白山神社 | 大正寺(泰澄大師創始) —1573(天正元年)に信長により焼打ち 今はその跡もない | <ul style="list-style-type: none"> 文殊菩薩 文殊山(泰澄大師の開山) 榎坂 榎坂の榎(明智光秀の古事) 題目岩 |
| 大野 | 「大野」という語源はもともと山の麓に位置する大きな集落の意味 | <ul style="list-style-type: none"> 水との闘いで苦しんだが、昭和45年~47年の基盤整備事業によって克服した。 福井藩の鴨池に指定された産地 | | 春日神社 | 親縁寺(齊藤実盛の提所) 一信長に焼かれる 専念寺 一もと春日神社の守護坊 | <ul style="list-style-type: none"> 御前の森 御前の水(御前の婆) |
| 別所 | 近くにあった荘園の追加開墾地の意味 | | | 春日神社 | 西称寺 一もと般若寺といい堂塔坊舎も沢山あったが、信長に焼かれた | |
| 乙坂今北 | 乙坂の地名の由来は、忍坂大中姫(おしざかおおなかひめ)から来ているおしざか→おつさか | | | 八幡神社 八幡神社 | 乙坂道場(1254) (了玄の開基) | |
| 青葉台 | 緑豊かな小高い丘陵地の意味と思われる | <ul style="list-style-type: none"> 他の集落とちがって、最初から住宅地として開発(山を造成し、水田を宅地化) | | 白山神社 | | <ul style="list-style-type: none"> 忠平茶屋があり、河和田から福井へ、武生及び鯖江から一乗谷方面への要所で、旅人はここで一休みした。(明治20年頃話) 平成2年「吉谷」から分離独立 新住民が中心(「文殊おろし」及び「御庄吉谷」を参考に要約) |